

ひろば 大代

556 8.10 大代公民館

お盆について

浄寺 原田秀典

お釈迦さまの弟子目蓮尊者の母が仏法によつてかき道の苦しみから救われたと云う故事からつとめられる仏教行事がお盆であります。金踊りは目蓮尊者が母の救われた事をおどろ上つてよろこんだ姿に由来すると云われております。

お仏壇にお供えとし、お墓へ参つて感謝の気持を捧げる心が合掌となり礼拝となります。

ご先祖のおかげを体感する時、盆三日だけにとどめず平素の生活の中、持ちだすものなのです。



部落総出で

地蔵堂の修復

平 武田 勇

飯谷平区甚木政良氏之前の地蔵堂は毎年お盆の十四に部落の人が集り供養してあります。

ところが最近雨漏り等で堂のいたみが激しくなり、なんとこれが修理したいものと、皆で話し合ひ去る七月十九日修理資材は部落民の寄附、又部落内の大工さん、左官さん及他の人々の努力奉仕により、こわれかけていた地蔵堂が立派に修復されました。

これは素朴で信心心の篤い部落の人々の協力によつて、或し遂げられたことで本者に心温か思ひがします。

私の健康法

上飯谷 原田信吉

私は若い時から蓮の花や

菊の花等紙で作ることを覚え皆さんに喜んでもうつていました。

こんな事が私の心を動かして、七十九才の時から家の前の山を拓き、花を植えました。ついでさつきで百本、紫、白の百日紅が二十本、桃が十二本、梅が十本位あります。その他色々あります。

その広さは三、四畝位です。

私の仕事はもう一つ牛を飼うことです。八十才になつてますが、この二つの事が張り合ひとなつて元気が頑張つております。

感謝の日々

下市 熊本モトヨ

八十年と云う長い人生の旅路を仏様のご慈悲と神様のご加護によつて幸せな日々を過ごせていたたいておりますことを心から感謝しております。

ております。

無事でいびませんが健康の有難さが分り、きのしい冬の日や雨の日を除いては私の出来る野菜造りや梅作の仕事をしています。

私にとって働くことは生甲斐であり、自然が私の友でございます。お風呂が大変好きで毎日欠かした事はございません。

体の続く限り、仏様による運心は現役でいたいと思ひ願っております。

老いの心は捨身だと云います。この覚悟は老人から恐怖をなくします。充實したその日その日を送つた人にとつて生甲斐になると思ひます。

そして夜寝る前には仏様にお礼の合掌と庭先に出るお宮に向い神様に礼を申します。



八月十八日九時半
戦死者追弔法要
於明圓寺

風景入り日附印の
使用開始

大家局では、市民祭、天
領さんにあわせて、八月
八日から風景入り通信日附
印の使用が認められました



この風景は
「大代田
植ばや
し」と
大家高
山を描い
たものです

また、この日附印は封書や
葉書の切手に押印（消印）
する際使用するものです。
遠方におられる御土出身
者等に、夏日よりや近況の
便りをお出しになる際にも
使用になりますと、大変喜

はゆるものと思われず。

「郷土を知り
井戸を知ろう」

真宗 本願寺派

金剛山 西臨寺

大家大家本郷
四日市

一、本尊 阿弥陀如来

二、由緒 開基は願教、佐
々不考之進時信と云い、
祖老母信濃源氏、佐々木
判官信近、十二代の孫で
あり、壮年の時本郡白根
（水上町）に隠遁して禪
宗であつたが大永五年（
一五二五年）真宗とな
る。大家本郷は一寺を建
立する。本願寺頭如上人
が石山麓城の節は、加勢
に登り上人より賞を拝領
した。

三、現在住持 荒木惠宗氏
参考資料

大田市誌

大代の歴史

新石見社事業案内より。

「記事 山本清助」

盆踊りを
盛りあげよう

（編集部）

やかて盆を迎えますが、
盆と古えは踊りのことが浮
い上ります。然し盆踊の球
な御土伝統の行事などが、
次第に廃れて行く様を感じ
ます。他面これと同じ様
に感じることは、大代から
一歩踏み出して見ると東は
祖式、西は井田、南は三原
や三谷でどれも見ても可
なり前進（耕地整備道路拓
抜舗装の進展諸施設の充
実）の姿がうかがわれ、大
代は何が起るか沈滞して
いる様子がします。

光が盆員参加で諸行事か
ら活気も呼び起し御土に新
風を沈み発展への足がかり
しようではありませんか
盆踊りも御土を盛り上げ

る動機となります。町を
挙げて参加しましょう。

石見銀山史跡を
再発見

再発見

屋敷跡、小道に残る

擬宝珠がな 今田文子
梅雨晴間、史跡を巡る
人多く 木村真幸

梅雨晴間、銀山史跡
たすけ行く 花田時子

梅雨空に、古偈
銀山史 齊藤康子

梅雨じめり、仁王の口の
深くまで 柿丸寺枝

ひえびえと 水がしたたる
間歩の奥

鉱夫の呻吟、聞こゆる如く
市原道子

暑中御見舞

申し上げます

酷しい暑さの折

健康には充分の

御注意を祈ります。

時間を大切に

しましうう!!

下市 渡 敏 昭

六月十日は7時の記念日でした。日本ではじめて水時計を用いて時を計ったのは西暦六七一年四月二十五日(天智天皇の頃)であったと云われ、これを太陽歴に直して六月十日を記念日とされた。

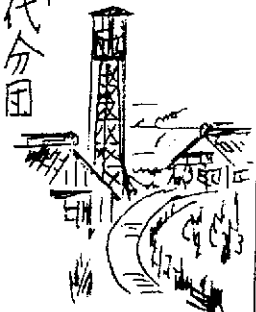
時の記念日は時間を尊重し定時の励行によって生活の改善を図ることを励し合う趣旨で設けられたもので、刻々と去る時間、そして只今の時間は二度とやつて来ないといふ時、そしてあなた一人の時間の浪費は他の幾人もの浪費に一ながる事になります。皆が時間も大切に致しましょう。



大代分団

ホース乾燥機完成

去る六月九日、上市正法寺前市道脇に、消防用ホース乾燥機が竣工しました。この施設は総工費五十万円で大田市消防署、大代分団、消防後援会費の外、大代分団役員六十一名が市より支給の年手当約ニヶ年分を全額寄附により奉仕の上、建設されました。



毎年使用後のホースの痛みがひどいので、長年の懸案となつていました。が今回遂に夢が叶いました。

たこ造り研修会

五月五日は子供の日、公民館には、真鯉、緋鯉、大五匹の鯉のぼりが上がり

子供達のたこ造り研修会が開かれました。

小さな手にナイフやハサミを使って皆一せけんめいでした。

レクレーションではのど自慢で大衆上手なタビッコも出て皆を驚かせました。婦人有志のこちそうに子供達は大衆楽しそうでした。

あし、らせ

くたびき団体を盛り上げ、お花の花一っぱい運動の一環として大代でも、公民館、寿会、婦人会で花の植を済ませました。

皆さんに花の苗をお分け出来る日も間近だと思います。家のまわりを花一っぱいにしましょう。プランター(三〇センチ)を乾燥致し申し出て下さい。

老人医科養更新(六月三十日) (係)

フオークダンス講習会 (六月二十三日夜八時)

7月28日前9:30

市政懇談会

(明るく町づくり)

高山会館

あしがき

(編集部)

アンケートが大部集まりました。自治会長さんを始め皆さん御協力有難う御座いました(未提出の分はなるべく早く御願います)。今月はこれによって希望や意見を中間集計、参考として発行致しました。アンケートが全部集まりましたら次号で御知らせします。健康的な記事 四一%、おもしろい記事 四一%、大代(歴史) 三九%、社会教育記事 二五% (以上御希望の記事。)